

学びは無限

戦後の教育改革で、私が中学校に進学するときが旧制中学校から新制中学校に変わった時でした。そのためにまだ校舎も出来ておらず、小学校の教室を借りての午前組と午後組に分かれての授業でした。その後、ある会社の寄宿舎を改装しての仮の校舎で何とか卒業しました。高校進学を前に父が亡くなり経済的に進学出来ませんでした。

知り合いの人の紹介で、紳士服仕立ての見習いとして住み込みで仕事を習い、数年後独立し、二十五歳で結婚し三人の子供にも恵まれ、苦労しながらも平穏な生活を送り、六十八歳で仕事を辞めました。

以前、電車の窓から見た『夜間中学生募集』と書いてあったのを思い出し、そつた、学校に行こう』と書いた

後日、面接を受けてから授業を見学。

先生から「どうされますか」と聞かれ、善は急げと

ばかり 明日からでもいいですか」と尋ねると

はい、いいですよ」との返事。

二〇〇六年、六八歳の中学生となり、これが学びの始まりでした。

教科書は昔と違い、素晴らしいカラー刷りの綺麗な教科書になっていて驚きでした。勉強が楽しく、先生の計らいで最長の九年在学しました。その間には生徒会長も経験し、東京で開催された全国夜間中学校大会にも参加。一年毎の修学旅行は三回も行き、その他にも運動会、遠足等楽しかった思い出は尽きません。

夜間中学校を卒業し、念願の定時制高校に入学しました。高校では私の孫くらいの生徒も在籍し、若いエネルギーを貰っています。教科は私の子供くらいの先生が、優しく解りやすく丁寧に教えて



くれます。苦手だった数学分数の足し算。掛け算、割り算、方程式のXY等が魔法のように解けてゆくのが楽しいのですが、数日経つと忘れてしまいます。

一緒に学ぶ仲間には、一九四三年に韓国済州島で起きた四三事件、それと朝鮮戦争から命からがら逃れてきた人たちがいます。戦後の激動の中で育ち、学ぶことも許されず、やっと夜間中学で学び、高校で学びを取り戻した学友が懸命に学ぶ姿には頭が下がります。しかしながら、言葉の壁が厚く確かに日本語は難しいと思います。漢字は、字の下と上につく字で、読みも意味も変わります。又同じ読みの漢字でも多くの字があり意味も変わります。

学校行事の中では、様々な趣向を凝らしての文化祭、遠足も楽しみです。三年生になると修学旅行があり、昨年の末には沖縄に行き、沖縄戦での悲しい歴史や文化を学びました。

学びは、勉強だけでなく他にも数知れずあります。人間関係からも教えられます。昔からのことわざに「人のふり見て我がふり直せ」とか「情けは人の為ならず」とかあります。

私は高齢者大学に通いはじめて六年になります。七年目の来期も行く予定です。

趣味の中からでも学びがあります。詩吟を始めて四十数年。漢詩の中からでも学びがあります。それを詩情豊かに吟じます。

次にカメラ、これも人に感動を与える作品に仕上げるためにパソコンに取り込んで様々に思いを巡らします。趣味は頭のカンパル剤となり脳が活性化されるのではないかと思います。

後期高齢者となった今、もっと学びたいと思う今日この頃です。

歳重ね学び楽しき八十路かな」

(平成三十年 二月十八日)